

NST通信

お知らせ

◆委員会

7月29日(木) 16時00分～ 講義室

◇論文発表：栄養管理室

◆勉強会

7月29日(木) 17時40分～ 大会議室

◇情報提供：大塚製薬工場(予定)

◇症例検討 or ミニレクチャー：5病棟

NST通信では各部署のNST委員の方に記事担当をお願いしてトピックスなどを紹介しています。今月は3Fの担当です。

○電解質とは

体内の水分量やpH、浸透圧のバランスを保ち神経伝達及び筋肉の運動にも深く関わっています。電解質は少なすぎても多すぎても細胞や臓器の機能が低下し、命にかかわることがあります。血液検査や尿検査で測定出来ます。今回はナトリウム(Na)とカリウム(K)について説明します!



・ナトリウム(Na)

体内の水分調節に関わる電解質 【基準値】138～145mmol/L

低値…腎不全、心不全、脱水、ネフローゼ症候群、甲状腺機能低下症など

【症状】頭痛、倦怠感、無気力、悪心など

【治療】原因次第であるが、全てにおいて緩やかな補正が基本

高値…脱水、尿崩症、糖尿病、クッシング症候群、アルドステロン症など

【症状】口渇、嘔吐、頭痛、脱力感など

【治療】輸液・経口補水など

●ナトリウムを多く含む食品●

塩蔵品などに多く含まれます



●ナトリウムを補充する薬●

塩化ナトリウム

塩化Na補正液



・カリウム(K)

神経伝達や筋肉の運動に関わる電解質 【基準値】3.6～4.8mmol/L

低値…嘔吐、下痢、摂食障害、呼吸不全、クッシング症候群など

【症状】筋力低下、四肢麻痺、不整脈、脱力感など

【治療】原因次第、カリウム補正、原因となる薬剤の中止、

食事や薬物療法、手術を要する疾患もあり

高値…腎不全、糖尿病、アジソン病など

【症状】口唇のしびれ、脱力、不整脈など

【治療】原因次第、薬物治療や食事制限、重症例では緊急透析療法

●カリウムを多く含む食品●

果物・海藻類・野菜などに多く含まれます



●カリウムを補充する薬●

アスパラリン酸カリウム錠

アスパラカリウム散

塩化カリウム

KCL注

●カリウムを排泄(下げる)薬●

ケイキサレート

カリメート



他にも、電解質にはカルシウム・マグネシウム・クロールがあります

電解質異常を早期に発見し治療につなげましょう!

参考文献：看護 roo! 電解質異常

おしらせ

エフツーショット排出口の仕様が変更となります。

新規格のチューブに直接エフツーショットを

接続することが可能です。

*旧規格チューブの場合、変換コネクタが必要です。



*パッケージも変更になります

